

モバイル向けWorkstationのリソースセグメンテーション

概要

Workstationモバイルアプリのコンテンツは、IDPベースのセグメンテーションをサポートしています。モバイル向けWorkstationのビルダーは、エディタのルールエンジンを介してコンテンツをセグメントできます。

セグメンテーションでは、異なる「ユースケース」を使用してWalkMeコンテンツをユーザーに表示する時期や、セグメンテーションに従ってユーザーの表示からアイテムを削除する時期を決定できます。セグメンテーションはビルドの重要な要素です。WalkMeアイテムが特定のユーザーまたは条件に関連していない場合、セグメンテーションを使用して非表示にすることができます。これにより、ユーザーは利用可能なタスクに集中し、画面上を整理することができます。

QuickActionsとオンボーディングタスクのみWorkstationモバイルアプリでセグメント化できます

Workstationモバイルアプリのコンテンツをセグメント化するには、アカウントが関連するWorkstationシステムでのIDPインテグレーションを実装している必要があります。これがセットアップされるとIDP属性がWalkMeエディタでルールエンジンに表示されます。 [IDPインテグレーションの詳細については、こちらをご覧ください。](#)

情報の確認

コンテンツは、セグメンテーションまたは表示条件を介してエディタでセグメント化できます。

← Edit Shuttle [?]

Come Work With Us

Name:

Come Work With Us

Description:

Career page

Destination URL:

https://www.walkme.com/careers/

 QR Code [?]

Display Condition [?]

[Create a rule](#)

Segmentation [?]

[Assign Segments \(0\)](#)

モバイルセグメンテーションのWorkstationで利用可能なルールについては、この表を参照してください：

ルール名	Workstationデスクトップ	Workstation Mobile
User Data(ユーザーデータ)	サポート対象	サポートされていない
User Attributes(ユーザー属性)	サポート対象	サポート対象
Date(日付)	サポート対象	サポート対象
時間	サポート対象	サポート対象
プラットフォーム	サポート対象	サポート対象
Active Directory	サポート対象	サポートされていない
実行されているアプリ	サポート対象	サポートされていない
実行されていないアプリ	サポート対象	サポートされていない

セグメンテーション

セグメンテーションは、1つまたは複数のルールの使用を含みます。複数のルールがセグメントに割り当てられる場合、それらは「OR」操作を使用して結合されます。これは、条件のいずれかが満たされた（正を返す）場合、コンテンツはそれに応じてセグメント化されることを意味します。

[セグメントの作成の詳細については、こちらをご覧ください](#)

表示条件

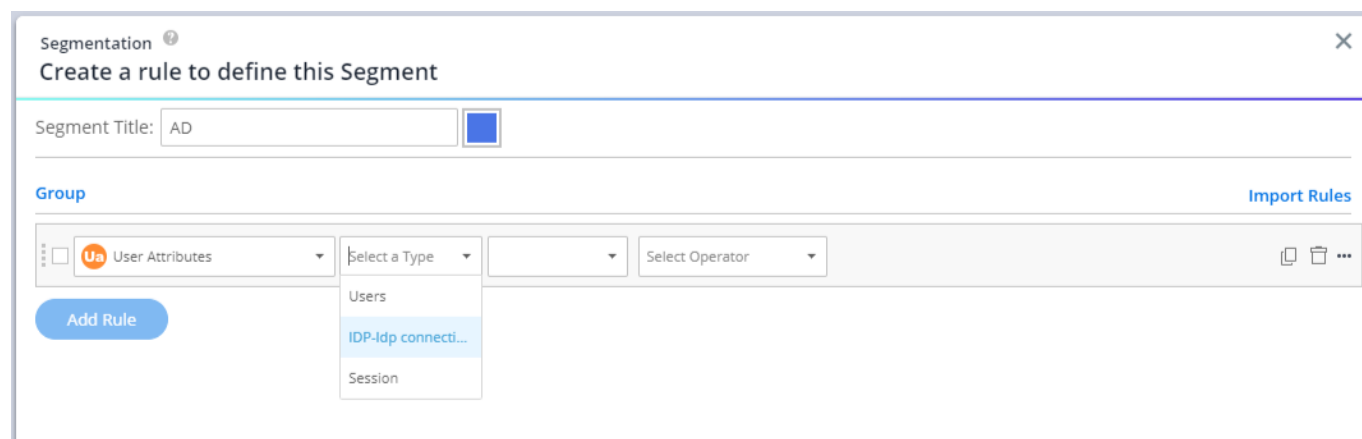
表示条件に基づくセグメンテーションにはWalkMeセグメンテーションよりも強い影響力があります。これは、対応するルール（存在する場合）が満たされている場合にのみコンテンツが表示されるためです。表示条件が偽と評価すると、セグメンテーションの結果に関係なく、コンテンツは表示されません。

「セグメンテーション」と「表示条件」の関係は、論理演算子「AND」によって決定されます。

[詳細については、この記事の「表示条件のセグメンテーション」セクションを参照してください](#)

ルールタイプ：ユーザー属性

セグメンテーションを追加する場合、両方とも[ルールタイプ：ユーザー属性を使用します](#)



Segmentation ⓘ
Create a rule to define this Segment

Segment Title: 

Group Import Rules

☐  User Attributes

- Users
- IDP-Idp connecti...
- Session